

1

解答解説のページへ

平地を東西にのびる直線道路 l と、その北側に 3 地点 A, B, C があり、それぞれの地点には目じるしが置かれている。

l 上の地点 P で A, B, C を見ると、直線 AP は l に垂直で、 B, C は直線 AP の東側にあり、 $\angle APB = 30^\circ$ 、 $\angle APC = 60^\circ$ であった。 P から東へ $100\sqrt{3}$ 移動した l 上の地点 Q では、 Q, B, A が一直線上にあり、 $\angle BQP = 30^\circ$ であった。 Q からさらに東へ移動した l 上の地点 R では、 R, C, A が一直線上にあり、 $\angle CRQ = 15^\circ$ であった。次の問いに答えよ。

- (1) $\cos 15^\circ = \frac{\sqrt{6} + \sqrt{2}}{4}$ を示せ。
- (2) 2 地点 A, C 間の距離 AC を求めよ。
- (3) 2 地点 B, C 間の距離の 2 乗 BC^2 を求めよ。

2

解答解説のページへ

関数 $f(x) = x^3 + ax^2 + bx + 1$ について、次の問いにそれぞれ答えよ。

- (1) 関数 $f(x)$ が $x = 0$ で極小になるとき、定数 a, b の満たす条件を求めよ。
- (2) 実数 s, t が $s \neq 0, t < s^3 + 1$ を満たすならば、関数 $f(x)$ が $x = s$ で極小値 t をとるように定数 a, b を、 s と t を用いて定めることができることを示せ。

3

解答解説のページへ

\vec{a} , \vec{b} , \vec{c} は座標平面上のベクトルで, $\vec{a} = (0, 1)$, $\vec{b} = (1, 1)$, $\vec{c} = (1, -1)$ とする。
 $k = 1, 2, 3, \dots, n$ とし, 各 k についてベクトル \vec{p}_k はベクトル \vec{a} , \vec{b} , \vec{c} のいずれかと
 する。次の問いに答えよ。

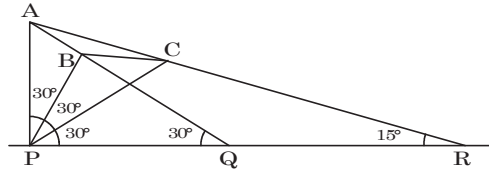
- (1) $n = 2$ とする。 $\vec{p}_1 + \vec{p}_2$ がとり得るベクトルのうち, 異なるものをすべて成分で
 表せ。
- (2) $n = 4$ とする。内積 $\vec{a} \cdot (\vec{p}_1 + \vec{p}_2 + \vec{p}_3 + \vec{p}_4)$ がとり得る値のうち, 異なるものはい
 くつあるか。
- (3) $n = 5$ とする。順序をつけて並べた列 $\vec{p}_1, \vec{p}_2, \vec{p}_3, \vec{p}_4, \vec{p}_5$ で, 条件
 $\vec{p}_1 + \vec{p}_2 + \vec{p}_3 + \vec{p}_4 + \vec{p}_5 = (4, 1)$ を満たすものはいくつあるか。

1

問題のページへ

$$(1) \cos 15^\circ = \cos(60^\circ - 45^\circ)$$

$$\begin{aligned} &= \cos 60^\circ \cos 45^\circ + \sin 60^\circ \sin 45^\circ \\ &= \frac{1}{2} \cdot \frac{\sqrt{2}}{2} + \frac{\sqrt{3}}{2} \cdot \frac{\sqrt{2}}{2} \\ &= \frac{\sqrt{6} + \sqrt{2}}{4} \end{aligned}$$



$$(2) AP = 100\sqrt{3} \tan 30^\circ = 100$$

$$\text{また, } \angle ACP = \angle CPR + \angle CRP = 30^\circ + 15^\circ = 45^\circ$$

$$\triangle APC \text{ に正弦定理を適用して, } \frac{AC}{\sin 60^\circ} = \frac{100}{\sin 45^\circ}$$

$$AC = 100 \cdot \frac{\sin 60^\circ}{\sin 45^\circ} = 50\sqrt{6}$$

$$(3) \angle ABP = 90^\circ \text{ より, } AB = 100 \sin 30^\circ = 50$$

$$\text{また, } \angle RAQ = \angle AQP - \angle ARQ = 30^\circ - 15^\circ = 15^\circ$$

(1), (2)の結果を利用して, $\triangle ACB$ に余弦定理を適用すると,

$$\begin{aligned} BC^2 &= (50\sqrt{6})^2 + 50^2 - 2 \cdot 50\sqrt{6} \cdot 50 \cos 15^\circ \\ &= 50^2 \left(6 + 1 - 2\sqrt{6} \cdot \frac{\sqrt{6} + \sqrt{2}}{4} \right) \\ &= 2500(4 - \sqrt{3}) \end{aligned}$$

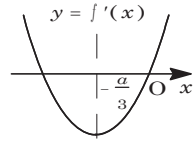
[解説]

問題文が長いのですが, 題意をいったん図示できれば, よく見かける構図の問題であることがわかります。(2)は正弦定理, (3)は余弦定理を利用するだけです。

2

問題のページへ

- (1) $f(x) = x^3 + ax^2 + bx + 1$, $f'(x) = 3x^2 + 2ax + b$
 $x = 0$ で極小になる条件は, $x = 0$ の前後で $f'(x)$ の符号が負から正へと変化することなので, $f'(0) = 0$ かつ $-\frac{a}{3} < 0$ である。



よって, $a > 0$ かつ $b = 0$

- (2) $x = s$ で極小となる条件は, (1)と同様にすると, $f'(s) = 0$ かつ $-\frac{a}{3} < s$

$$3s^2 + 2as + b = 0 \cdots \cdots \textcircled{1}, \quad s + \frac{a}{3} > 0 \cdots \cdots \textcircled{2}$$

また, 極小値が t なので $f(s) = t$ より,

$$s^3 + as^2 + bs + 1 = t \cdots \cdots \textcircled{3}$$

以下, 実数 s, t が $s \neq 0$, $t < s^3 + 1$ を満たすとき, ①②③を満たす定数 a, b が存在することを示す。

$$\textcircled{1} \text{より, } b = -3s^2 - 2as \cdots \cdots \textcircled{1}'$$

$$\textcircled{3} \text{に代入して, } s^3 + as^2 - (3s^2 + 2as)s + 1 = t$$

$$as^2 = -2s^3 - t + 1$$

$$s \neq 0 \text{より, } a = \frac{-2s^3 - t + 1}{s^2} \cdots \cdots \textcircled{4}$$

$$\textcircled{1}' \text{より, } b = -3s^2 - 2s \cdot \frac{-2s^3 - t + 1}{s^2} = \frac{s^3 + 2t - 2}{s} \cdots \cdots \textcircled{5}$$

ここで, ④を用いると,

$$s + \frac{a}{3} = s + \frac{-2s^3 - t + 1}{3s^2} = \frac{s^3 - t + 1}{3s^2} > 0 \quad (t < s^3 + 1 \text{より})$$

すなわち, ④で定めた a によって②は満たされている。

したがって, $s \neq 0$, $t < s^3 + 1$ のとき, 関数 $f(x)$ が $x = s$ で極小値 t をとるように, 定数 a を④, b を⑤として定めることができる。

[解法]

(2)は存在証明という解の書きにくい問題です。そこで, ①～③を導いた後, 交通整理をしてみました。

3

問題のページへ

(1) \vec{p}_1, \vec{p}_2 は $\vec{a}, \vec{b}, \vec{c}$ のいずれかなので, $\vec{a}, \vec{b}, \vec{c}$ を 2 つ組み合わせて和を計算すると, $2\vec{a} = (0, 2), 2\vec{b} = (2, 2), 2\vec{c} = (2, -2), \vec{a} + \vec{b} = (1, 2), \vec{b} + \vec{c} = (2, 0), \vec{c} + \vec{a} = (1, 0)$ となるので,

$$\vec{p}_1 + \vec{p}_2 = (0, 2), (2, 2), (2, -2), (1, 2), (2, 0), (1, 0)$$

(2) $\vec{p}_1 + \vec{p}_2 + \vec{p}_3 + \vec{p}_4 = (k, l)$ とおくと, $\vec{a} \cdot (\vec{p}_1 + \vec{p}_2 + \vec{p}_3 + \vec{p}_4) = l$

(1)より, $\vec{p}_1 + \vec{p}_2$ の y 成分は -2 または 0 または 2 であり, また $\vec{p}_3 + \vec{p}_4$ の y 成分も -2 または 0 または 2 である。

よって, $\vec{p}_1 + \vec{p}_2 + \vec{p}_3 + \vec{p}_4$ の y 成分, すなわち l は $l = -4, -2, 0, 2, 4$ となり, $\vec{a} \cdot (\vec{p}_1 + \vec{p}_2 + \vec{p}_3 + \vec{p}_4)$ は異なる値を 5 つもつ。

(3) \vec{p}_5 は $\vec{a}, \vec{b}, \vec{c}$ のいずれかなので, これをもとに場合分けをする。

(i) $\vec{p}_5 = \vec{a}$ のとき 条件より $(k, l) + (0, 1) = (4, 1)$ なので, $(k, l) = (4, 0)$

$\vec{p}_1 + \vec{p}_2 = (2, -2), \vec{p}_3 + \vec{p}_4 = (2, 2)$ のとき, (1)より $1 \times 1 = 1$ 通り

$\vec{p}_1 + \vec{p}_2 = (2, 0), \vec{p}_3 + \vec{p}_4 = (2, 0)$ のとき, (1)より $2 \times 2 = 4$ 通り

$\vec{p}_1 + \vec{p}_2 = (2, 2), \vec{p}_3 + \vec{p}_4 = (2, -2)$ のとき, (1)より $1 \times 1 = 1$ 通り

したがって, $1 + 4 + 1 = 6$ 通り

(ii) $\vec{p}_5 = \vec{b}$ のとき 条件より $(k, l) + (1, 1) = (4, 1)$ なので, $(k, l) = (3, 0)$

$\vec{p}_1 + \vec{p}_2 = (2, -2), \vec{p}_3 + \vec{p}_4 = (1, 2)$ のとき, (1)より $1 \times 2 = 2$ 通り

$\vec{p}_1 + \vec{p}_2 = (2, 0), \vec{p}_3 + \vec{p}_4 = (1, 0)$ のとき, (1)より $2 \times 2 = 4$ 通り

$\vec{p}_1 + \vec{p}_2 = (1, 0), \vec{p}_3 + \vec{p}_4 = (2, 0)$ のとき, (1)より $2 \times 2 = 4$ 通り

$\vec{p}_1 + \vec{p}_2 = (1, 2), \vec{p}_3 + \vec{p}_4 = (2, -2)$ のとき, (1)より $2 \times 1 = 2$ 通り

したがって, $2 + 4 + 4 + 2 = 12$ 通り

(iii) $\vec{p}_5 = \vec{c}$ のとき 条件より $(k, l) + (1, -1) = (4, 1)$ なので, $(k, l) = (3, 2)$

$\vec{p}_1 + \vec{p}_2 = (1, 0), \vec{p}_3 + \vec{p}_4 = (2, 2)$ のとき, (1)より $2 \times 1 = 2$ 通り

$\vec{p}_1 + \vec{p}_2 = (2, 0), \vec{p}_3 + \vec{p}_4 = (1, 2)$ のとき, (1)より $2 \times 2 = 4$ 通り

$\vec{p}_1 + \vec{p}_2 = (1, 2), \vec{p}_3 + \vec{p}_4 = (2, 0)$ のとき, (1)より $2 \times 2 = 4$ 通り

$\vec{p}_1 + \vec{p}_2 = (2, 2), \vec{p}_3 + \vec{p}_4 = (1, 0)$ のとき, (1)より $1 \times 2 = 2$ 通り

したがって, $2 + 4 + 4 + 2 = 12$ 通り

(i)(ii)(iii)より, $\vec{p}_1, \vec{p}_2, \vec{p}_3, \vec{p}_4, \vec{p}_5$ の順列は $6 + 12 + 12 = 30$ 通りある。

[解説]

(1)は(2)の誘導, (2)は(3)の誘導という最初に考えた解を書きました。